

【課題】

【目的】

- ・教職員や家庭、地域の特別支援教育に対する理解を促進し、児童生徒への長期的かつ適切な支援体制を整備する。
- ・児童生徒の困難さを早期に把握し、保護者との合意形成や就学先との連携を図ることで、就学後の支援を充実させる。

就学に向けての相談、フォロー体制の充実

- ・ 早期支援コーディネーターが市内の幼稚園・保育所等に出向き、幼児の観察に基づいて保育士等の支援者や保護者に助言を行ったり、就学説明会を実施したりしたことで、早期就学相談や支援体制の充実につながった。

【今後の取組】

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズの変化に応じ、多様な学びの場づくりや教育課程の工夫による学びの連続性の実現を図る。
- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒のキャリア形成を図り、卒業後の自立や社会参加に向けた学校・家庭・地域・企業等との連携強化を図る。

特別支援教育への理解促進のために

- ・ 特別支援教育に関する指導・助言を行う指導教諭の派遣
- ・ 就学予定児の保護者に対する就学説明会の開催
- ・ 保護者や地域、教職員等を対象とした研修会の開催

児童生徒に必要な支援を早期に実現するために

- ・幼稚園・保育所等への就学前調査書の作成依頼
- ・就学予定児の在籍園等への訪問及び観察記録表の作成
- ・保護者作成による「就学サポートプラン」(就学後の児童への配慮事項に関する資料)を活かした幼保小間の円滑な引継ぎ

長期的な支援体制の整備のために

- ・ 特別支援学級在籍生徒による職場見学
- ・ 学校・保護者の相互連携による個別的教育支援計画の作成・活用

